

井尻公民館だより

(令和4年6月1日発行)

<令和4年6月号>

(第219号)

<連絡・問い合わせ先> 館長 窪田 道忠 ()
主事 相澤陸奥実 ()



絵手紙愛好会

須田正枝

薫風薫る季節からいよいよ梅雨の季節がやってきました。この時期の雨に濡れた、紫陽花が季節を演出を醸し出しておりますね。

我地域の基幹産業のすもも、ももの実も大きさも増し、葡萄の形作りと毎日が忙しい時期になって来ました。良い収穫が出来るよう願うものです。

毎日毎日のテレビの映像でウクライナ情勢が、無残に破壊された多くの建物が、多くの人達の悲鳴を見聞きに耐え難い気持ちになり、チャンネルを変える、映像には楽しい芸能番組が、また変えると美味しいそうの食べ物の番組が映し出されています。食べ物も水も薬もとウクライナ国民は叫んでいます。このギャップはどうしたらいいのか。

日本は終戦から75年「平和憲法」第9条で戦争放棄・戦力不保持・交戦権の否認の3規定があり、これを守りて平和で有ります、しかしながら今日、日本とりまく地域もけして安全安心としてはいられない状況とも感じられます、ひとたび戦争になれば勝者、敗者とも多くの尊い命の犠牲と悲しみと、憎しみ合いになってしまいます、それが歴史的に続いてしまう、今、起こっている争いが直ぐにも終結なるを願うものです。

お知らせ

回覧板でお知らせになりますが、例年皆さんが楽しみにしていた恒例の納涼祭は今年度も中止となります。実行委員会執行部で協議の結果、今のコロナ感染の高止まり状況、情報等を鑑みても8月までに終結はない、祭の内容からしても密状態は避けられません、この様な事から中止の結論となりました。楽しみにされていた地域の皆さんには残念ですが、ご理解ください。

5月度活動報告

菊作り教室

例年通り菊作りの季節がやってきました。
春先から鉢で育てていた色々な種類の菊を持ち寄り、良く伸びた最上部の10cm位を切り取り用意した肥料土入りした箱（スチロール製）に薬品処理し「挿し芽」工程の作業です。各自、気に入った種類のやり取りを行ないました、10種類は越えます。上手く根付くか心配であり、また楽しみです。
2回、3回の教室をへて11月の満花作品まで気を抜かず頑張ります。



塩山太極拳の活動報告

1991年に発足して今年で31年長期活動のサークルです。

代表の手塚亭子さんを中心とした愛好会です、メンバー同士、和気あいあいの中でも強い絆を持ち続けてきました。毎月2回の活動で楽しんでおります、今年も2022年度山梨県スポレク祭・フェスティバルに参加のため、熱の入った練習も行っています。

ストレスの多い社会、太極拳は身体鍛錬・精神修養と楽しみながら望めます、興味のお持ちの方いつでも体験歓迎です。



豆知識

梅雨にはしっとり濡れた紫陽花がよく似合い、美しい姿をみせ、梅雨ならではの風情ですね、紫陽花について調べてみました。

皆さんが見ている紫陽花の花びらは実はガクで中心部にあるのが花です。

あじさいの語源には諸説あり、藍色が集まったものを意味する「集真藍（あづさあい／あぢさい）がなまったという説が有力との事、あじさいは、大変古くから親しまれていて「万葉集」、平安時代の辞書にも別名で書かれています、それを「紫陽花」と書くようになったのは、唐の白居易が別の花につけた「紫陽花」を、平安時代の学者が「あじさい」にあてたからだといわれています。

紫陽花はもともとは、日本固有の植物でした、日本に来ていた、ドイツのシーボルトがスパイ容疑でドイツに戻ったが、恋人だったお滝さんを忘れられず、この花に「オタクサ」という名をつけ、海外に紹介したといわれています。それ以来、西洋でも親しまれて、色々と品種改良され、日本に逆輸入されて来ています。

紫陽花は土壌が酸性だと青系に、アルカリ性だと赤系に、そして中間だと紫系になります。

紫陽花の花言葉は、

- ・ 青い紫陽花 ・ 辛抱強い愛情
- ・ 紫の紫陽花 ・ 移り気、無常、浮気
- ・ 赤やピンク ・ 元気な女性、強い愛情
- ・ 白色 ・ 寛容、ひたむきな愛情
- ・ 緑色 ・ ひたむきな愛



(川柳)

(井尻公民館川柳愛好会) 2022/4/2

こじれても笑い一つで座が睦む
席譲り老婆の笑みに座がなごみ
ランドセル愛と笑顔のてんこ盛り
侵略者うすら笑いで民を消す
現金と共に消えるは笑顔かな
誕生日笑顔たつぷり笑うまご
マスクなし笑いあえる日いつ来るの
良く笑う妻に良く似た福笑い

5月の「だより」の中で川柳愛好会の活動日の曜日に誤りがあり、お詫びし訂正します、木曜日 ↓ 金曜日です

(俳句)

(井尻公民館俳句愛好会) 2020/5/10

思い出は無色透明ソーダ水
純白の繭より白き蚕の蛾
慈しむ子に着せるごと袋掛
両手に泉の命いのちもらひけり
柚子の刺し先鋭せいていなるや夏兆す
金婚の寄り添ふ二人風薫る
爆音に暮れし記憶に芋植うる

(短歌)

(古屋和子)

五月晴れ桃の摘果や葡萄園の
枝が伸びてき作業に追われ
校庭でランドゴルフ年配の
仲間と集い一日張り切る

(久保 晃)

富士の嶺に白雪残り風寒し
桃花は散りて行く春惜しむ

この星で人を殺める戦いくさして
人は赦あやさず神も赦あやさず